



# 特集：ツールを開発する

## JCCP の活動の3つのアプローチ

JCCP の活動を一言でいうと、どのように表すことが出来るでしょうか？

一言でいうと、「紛争予防」を行うための活動です。では、「紛争予防」を行うための活動とはどういったものなのでしょうか？

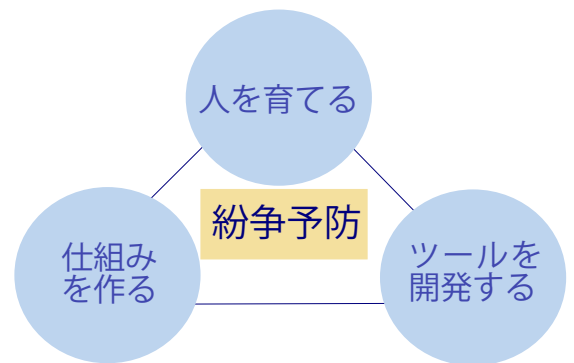
JCCP は紛争予防の活動を、3つのアプローチで行っています。

それは、【人を育てる・ツールを開発する・仕組みを作る】です。

- ①人を育てる：研修や訓練などを通じて、現地の人材を育成します。(例：南スーダンでの若者の職業訓練)
- ②ツールを開発する：現地の人材が自分たちで活動を行えるようにする為の、ツールを開発します。
- ③仕組みを作る：現地の人々が自ら紛争予防を実現する為の、メカニズムを構築します。

(例：ケニアのマザレスラムでの早期警戒ネットワーク)

この3つのアプローチが、それぞれ相乗効果を生み出すように、各事業を組み立てています。今回は、今までニュースレターではなかなかご紹介する機会がなかった、「ツールを開発する」に焦点を当てて、JCCP が今まで作成してきた貴重なツールを皆様にご紹介いたします！



### 職業訓練 マニュアル



職業訓練マニュアル

2010年から南スーダンで行ってきた職業訓練では、ホテルやレストランからの助言や、訓練生の反応を参考に、内容の見直しや改良を絶えず行ってきました。実施した8回の訓練で培った経験とノウハウを、現地の協力団体や政府機関と共有するため、職業訓練マニュアルを作成しました。訓練生の集め方から就職斡旋までの流れの説明に始まり、レストランやホテルは本来どのようなサービスを提供するところなのか、どのような役割の人が働いているのか、お客さんとのコミュニケーションに重要なことは何か、食中毒を防ぐための衛生管理、テーブルセッティングやテーブルナプキンの折り方、注文の取り方、調理道具の種類と使い方、調理方法の違い、客室清掃の手順、苦情への対応方法など、その内容は多岐にわたります。特に教育に苦労した職業倫理については、実際に実施した寸劇の台本を載せる工夫をし、この一冊で訓練の全てを知ることができる完成度の高いマニュアルとなっています。

### 【お茶の水女子大学ワークショップ】

事務局長の石井由希子が、1月23日、お茶の水女子大学グローバル人材育成推進センター主催の『女性のグローバルな活躍のためのワークショップ』に講師として登壇し、自身の海外勤務経験を交えながら、女性のグローバルな活躍に必要な資質について解説しました。



### 【南スーダン活動報告会】

1月29日、在南スーダン代表中嶋秀昭の一時帰国にあわせ、東京・市ヶ谷のJICA地球ひろばにて、活動報告会を行いました。防衛省より浦上法久2等陸佐をお招きし、今後の南スーダンの支援のあり方を考えるパネルディスカッションを開催しました。



### 【勉強会（国連安保理決議 1325号）】

3月7日事務局長の石井が、『国連安保理決議 1325号 国別行動計画策定に向けた連続学習会第3回「紛争予防とジェンダー」学習会』に講師として登壇しました。（主催：国連安保理決議 1325号国別行動計画・市民連絡会）国連安保理決議 1325号は女性と平和・安全保障の問題を明確に関連づけた初の安保理決議です。日本では外務省をはじめとする関連省庁と市民社会が中心となって国別行動計画案の策定を進めています。

### 【勉強会（関西学院大学）】

3月22日、「関西学院大学講師有志の会」様より講演依頼を頂き、在南スーダン代表の中嶋秀昭が勉強会に参加いたしました。関西学院大学大阪梅田キャンパスにて、『国際協力現場のお話会「女性への暴力と紛争」』をテーマとしてお話ししました。その後質疑応答も行われ、関西で参加者の多くにご満足いただくことができ、大変貴重な機会となりました。

## Many thanks for JCCP's supporters!

### ●那須歯科様からのご支援●

大阪の那須歯科様より、治療の過程で出た使用済みの金歯や金属をご寄付いただきました。このような金属も換金することができ大変貴重な支援となります。那須歯科は、定期購読する雑誌にたまたま掲載された瀬谷理事長のインタビュー記事を見て、JCCPにご寄付を決めてくださったとのことでした。「JCCPが活動する紛争地は僕らには想像のできない世界だけれども、ぜひ頑張ってください。」と激励の言葉をくださいました。



### ●株式会社ベネッセコーポレーション様からのご支援●

株式会社ベネッセコーポレーション様よりご協力頂いていた、衛生啓発に関するイラストが完成し、4月に現地のNGO (Street Children Aid : SCA) へ贈呈されました。SCAは現在国内避難民がいるキャンプで子どもへの支援を行っています。ベネッセ様とJCCPの想いを引き継いで、素敵なイラストを通して現地の子どもたち、そして国の将来のために活用してくれることを期待しています。



### ●南スーダン職業訓練キャンペーン●

昨年12月より今年3月末まで、南スーダン職業訓練キャンペーン『南スーダンの若者を応援しようキャンペーン』をおこないました。多くの温かいご支援に、JCCP一同感謝申し上げます。残念ながら昨年末より現地では戦闘が起こり治安も急激に悪化しています。このため、JCCPでは治安が改善されたときに、南スーダンの若者の職業訓練をはじめとする支援活動が行えるようになるためのニーズ調査を行っています。



### ●ソマリア盲人学校への支援●

井上健様からご支援をいただき、点字器やブラインドサッカー用鈴入りボールや杖などの物資を、ソマリア連邦共和国の首都モガディシオにあるソマリア盲人学校にお届けしました。井上様は、国連訓練調査研究所 (UNITAR) にて、平和維持活動訓練プログラムの諮問委員会のメンバーを務め、JCCPが実施するケニア事業においても、PKO訓練センター (IPSTC) の研修プログラムの講師としてご活躍中です。

